

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤザキ キミヨ 矢崎 きみよ	女	1891   1979	白根町	南アルプス市	『愛育のあゆみ』	社会科学	白根町連合愛育会長、山梨県愛育連合会会長。甲府家庭裁判所家事調停員。 1966年藍綬褒章受賞、1969年恩賜財団母子愛育総裁表彰、1970年勲五等瑞宝章受賞ほか。 (『愛育のあゆみ』)		『愛育のあゆみ』(山梨県白根町母子愛育会、1990、顔写真あり)	2012/8/4	白根
ヤザキ ケンクウ 矢崎 源九郎	男	1921   1967	若草町	南アルプス市	『山梨百科事典』	言語 文学	言語学者、北欧文学者、児童文学者、東京教育大学助教授。アンデルセン童話の翻訳と研究。 (『山梨百科事典』)	『アンデルセン童話全集』(矢崎 源九郎訳、講談社、1984) 『絵のない絵本』(アンデルセン著、矢崎源九郎訳、新潮社、1952) 『ニルスのふしぎな旅』(セルマ・ラーゲレーヴ著、矢崎源九郎訳、偕成社、1953) 『グリムの昔話』(グリム兄弟著、矢崎源九郎共訳、童話館出版、2000) 『本・子ども・大人』(ポール・アザール著、矢崎源九郎共訳、紀伊国屋書店、1979、山梨県立図書館蔵)ほか	『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1972、p792)	2012/8/21	わかくさ
ヤザキ ミツネ 矢崎 光圀	男	1923   2004	若草村	南アルプス市	「成城法学」	社会科学	法学博士。 日本法哲学会理事長、大阪大学名誉教授、成城大学法学教授・部長。 (「成城法学」)	『法哲学』(筑摩書房、1975、山梨県立図書館蔵) 『法の概念』(ハーバート・ハート著、矢崎光圀訳、みすず書房、1976、北杜市立図書館蔵) 『近代法思想の展開』(有斐閣、1981、富士河口湖町立図書館蔵) 『日常生活の法構造』(みすず書房、1987、山梨県立図書館蔵)ほか	「成城法学」第48号・矢崎光圀先生古稀祝賀記念号(成城大学法学会、1995.3、p509、成城大学法学部ホームページで閲覧可)http://www.seijo-law.jp/faculty/public/info/hougaku/048.php(2012..8..21確認)	2012/8/21	わかくさ
ヤシロ エイタ 八代 英太	男	1937 	南八代村	笛吹市八代町	『山梨県人物・人材情報リスト2011』	社会科学	政治家 衆議院議員 元テレビ司会者 帝京平成大学教授 本名:前島英三郎 (『山梨県人物・人材情報リスト2011』)	『八代英太の車いす郵政大臣奮戦記』(日本テレソフト、1999) 『負けてたまるか車椅子』(日本図書センター、2001) 『夢への階段』(双葉社、2003)	『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p448~449) 『お父さんの車椅子』(前島由希著、講談社、2000)	2012/8/20	石和

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤダ キミオ 矢田 喜美雄	男	1913   1990	八代郡増 田村	笛吹市	『山梨県人物人 材情報リスト 2002』	社会科学 芸術・ス ポーツ	元走り高跳び選手、ベルリンオ リンピック第5位入賞。 元・朝日新聞記者(下山事件担 当) (『山梨県人物人材情報リスト 2002』) 朝日新聞に連載された藤沢恒 夫の「新雪」は教職時代の矢田 がモデルとなった。 (『翔んだ男矢田喜美雄』)	『謀殺下山事件』(講談社、1973)	『山梨県人物人材情報リスト 2002』(日外アソシエーツ、 2002、p369) 『翔んだ男矢田喜美雄』(「翔ん だ男矢田喜美雄」刊行委員会、 1991)	2014/11/27	竜王
ヤダ シゲル 矢田 茂	男	1917   1987	甲府市	甲府市	『著作権台帳』 『山梨県人物人 材情報リスト 2002』	社会科学 芸術・ス ポーツ	甲府一高卒 (『甲府一高同窓会誌』) 「新宿福祉の家」代表。 舞台プロデューサー、「ダン・ヤ ダ・ダンサーズ」主宰。 パリのムーランルージュで公 演。 (『山梨県人物人材情報リスト 2002』)	「私はこの街を愛している」作詞(作 曲・市村俊幸、歌・森繁久弥、レコー ド『マイライフマイピアノ』収録)	『山梨県人物人材情報リスト 2002』(日外アソシエーツ、 2002、p369) 「映画技術」3巻13号(日本映画 技術協会、1955.7、p26-27) 「毎日新聞夕刊」(1990.11.13、8 面) 「山梨日日新聞」(1954.11.16) 『甲府一高同窓会誌』(甲府一 高、p399) 「ネットワーク」(2005年5・6月号 から2006年3・4月号まで「地平を ひらくボランティアたち」5回連 載) ほか	2014/11/27	竜王
ヤブウチ マサユキ 藪内 正幸	男	1940   2000	大阪府	大阪府	「藪内正幸美術 館ホームページ」	芸術・ス ポーツ	画家 (『ヤブさん 藪内正幸・動物画 に生きた六十年』)	絵・挿絵 『コウモリ』(福音館書店、1983) 『日本の恐竜』(福音館書店、1988) ほか	『ヤブさん 藪内正幸・動物画に 生きた六十年』(たまだあ編集 室、2004) 「藪内正幸美術館ホームペー ジ」 <a href="http://yabuuchi-art.main.jp/">http://yabuuchi-art.main.jp/</a> (2012.7.14確認)	2012/7/14	はくしゅう

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤマキ ヨシオ 八巻 与志夫	男	1954 	若草町	南アルプス市	『山梨県人物人 材 情報リスト2000』	歴史・地 理	山梨県埋蔵文化財センター文 化財主事、所長を歴任。 (『山梨県人物人材情報リス ト2000』) (『毎日新聞』)	『古代甲斐国の謎』(新人物往来社、 1985) 『戦国武将・武田信玄』(新人物往来 社、1988) 『新府城と武田勝頼』(新人物往来 社、2001) 『新府城の歴史学』(新人物往来社、 2008) ほか	『山梨県人物人材情報リスト 2000』(日外アソシエーツ、 2000、p392) 『毎日新聞』(2012.3.28、27面)	2012/11/4	韮崎
ヤマキタ シゲリ 山北 しげり	男	1912   1994	甲府市	甲府市	『山梨日日新聞』 『やまわらべた ち』	文学	童謡詩人。本名は山北茂利。大 村主計に師事し「ぶんぶく茶釜」 などを作詩。童謡集「小人の踊 り」を刊行。 (『山梨日日新聞』) 戦前より多くの童謡を作詩す る。晩年を竜王町で過ごした。 (『山北しげり童謡集』)	『山北しげり童謡集』(竜王町、 1995) 童謡「ぶんぶく茶釜」(中山晋平作 曲、ビクターレコード)	『山梨日日新聞』(2000.2.22、11 面、顔写真あり) 『やまわらべたち』(竹内秀秋 著、ふじ音楽事務所、2003、p42 ~43)	2014/11/27	竜王
ヤマグチ ヨシアキ 山口 好昭	男	1941	上野原町	上野原市	『食と邑おこし』 (文芸社)	産業	クレイン共同サービス(株)常務取 締役 ふるさと長寿館館長 山梨県農村休暇邑ゆうゆう案内 人 上野原市議会議員	『食と邑おこし』(文芸社、2005)	『食と邑おこし』(文芸社)	2014/12/1	上野原
ヤマザキ テルトモ 山崎 照朝	男	1947 	大和村	甲州市	『無心の心』	芸術・ス ポーツ	第1回全日本空手道選手権大 会優勝 (『無心の心』)	『無心の心』(スポーツライフ社、 1980) 『山崎照朝の実戦空手』(池田書 店、1984)	『無心の心』(裏表紙、顔写真あ り) 『山崎照朝の実戦空手』(裏表 紙、顔写真)	2012/8/21	大和

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤマザキ ホウダイ 山崎 方代	男	1914   1985	右左口村 (中道町)	甲府市	『山崎方代全歌集』	文学	歌人。 1972年から晩年まで鎌倉で暮らした。 1975年「短歌」昭和49年9月号掲載『めし』が第1回角川短歌愛読者賞受賞。 (『山崎方代展』) (『山梨県人物・人材リスト2013』)	『右左口』(短歌新聞社、1974) 『こおろぎ』(短歌新聞社、1980) 『青じその花』(かまくら春秋社、1981) 『首』(短歌新聞社、1981) 『迦葉』(不識書院、1985) 『山崎方代全歌集』(不識書院、1995)	『山梨県人物・人材リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p385～386) 『山梨の文学』(山梨日日新聞社、2001、p355～) 『山崎方代展』(山梨県立文学館、1994) 『山崎方代のうた』(大下一真著、短歌新聞社、2003) 「方代研究」(山崎方代を語り継ぐ会、創刊号～) ほか	2014/11/27	県立
ヤマシ ススム 山地 進	男	1929 	富士吉田市	富士吉田市	『山梨日日新聞』	産業	農政評論家。 内外食料経済研究会代表、山人会会長。京都工芸繊維大学繊維学部卒。1953年日本経済新聞社入社。1969年編集委員兼論説委員、1984年日経を定年退職。2006年学術文化団体・山人会会長に就任。 (『山梨県人物・人材情報リスト2007』)	『再出発する日本農業』(永田農共著、農業図書、1962)	『山梨県人物・人材情報リスト2007』(日外アソシエーツ、2006、p343～344) 『山梨日日新聞』(2006.2.12、9面)	2014/11/25	富士吉田
ヤマシ タカシ 山下 孝司	男	1957 	竜王町	甲斐市	『山梨県人物人材情報リスト2000』	歴史・地理	考古学研究者。 日本考古学協会会員。 (『山梨県人物人材情報リスト2000』)	『戦国武将・武田信玄』(新人物往来社、1988) 『新府城と武田勝頼』(新人物往来社、2001) 『中近世甲斐の社会と文化』(岩田書院、2005) 『新府城の歴史学』(新人物往来社、2008) ほか	『山梨県人物人材情報リスト2000』(日外アソシエーツ、2000、p395)	2012/11/4	韮崎

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤマダ コウゾウ 山田 耕三	男	1932 	京都府	京都府	『山梨百景』 『山鳴る』	芸術	3歳のとき、甲府へ転居、現在は甲斐市在住。 1953年、第2回全国公務員レクリエーション(山梨)絵画展で特選をはじめ、受賞多数。 1985～1991年、山梨県立美術館副館長。 1991～1993年、山中湖高村美術館館長。 1996年、旧竜王町北部公園モニュメント制作。 (『山梨百景』) 1997年、第2回NHK地域放送文化賞受賞。 1998年、第1回山梨県文化賞・文化功労章受章、第12回山人会前田晃文化賞受賞。 2001年、櫛形町立春仙美術館館長。 2002年、南アルプス市制施行により同市立春仙美術館・白根桃源美術館館長。 (『山鳴る』)	『山田耕三』(山梨日日新聞社、1994) 『山梨百景』(山梨日日新聞社、1997) 『スケッチ富士の表情100』(ART・R、2006) 『春によし』(ART・R、2009) 『山鳴る』(ART・R、2013) ほか	『山梨百景』(p227～p230) 『ザ・やまなし』(山梨日日新聞社、1997年12月号、p2～3) 『山鳴る』(略歴p248～251)	2014/11/27	竜王
ヤマダ タカイ 山田 多賀市	男	1907   1990	長野県	長野県	『終焉の記』	文学	子守奉公・大工の従弟・瓦焼屋の従弟・農家の雇人・土方・瓦焼職人・25歳で実際運動から転向、文学作家を志す(『終焉の記』) 登美(甲斐市竜地)に「耕土」の文学碑あり。 『山梨の文学第20号』	『耕土』(文化山梨社、1947) 『農民』(山梨ふるさと文庫、1987) 『雑草』(東邦出版社、1971) 『終焉の記』(東邦出版社、1974)	『終焉の記』 (東邦出版社、1974、p206) 『山梨の文学第20号』 (山梨県立文学館、2004、p35)	2014/11/27	双葉
ヤマダ トシコ 山田 十士子	女	1943 	山梨県	山梨県	『すいぎんちたのくってんかいねい』	文学	保育士 双葉西保育園園長 (『すいぎんちたのくってんかいねい』)	『すいぎんちたのくってんかいねい』 (山田十士子、2009)	『山梨日日新聞』(2009.1.31.15面)	2014/11/27	双葉

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤマデラ ジンタロウ 山寺 仁太郎	男	1919 	韮崎市	韮崎市	『21世紀-山梨の100人』	歴史・地理 社会科学	郷土研究家。民俗学者。 井筒屋醤油店会長。山梨郷土研究会会員。日本山岳会会員。 白鳳会会長、顧問を歴任。 (『21世紀-山梨の100人』)	『甘利山』(山梨日日新聞社、2001) 『目で見る韮崎・巨摩の100年』(郷土出版社、1990) 『五車』(五車会、1991) 『白州町誌』(白州町、1986)第4章4節	『21世紀-山梨の100人』(山梨新報社、2002、p176)	2012/11/4	韮崎
ヤマト イクオ 山本 育夫	男	1948 	山梨県	山梨県	『山梨県人物・人材情報リスト2013』	芸術・スポーツ 歴史・地理	美術ジャーナリスト、詩人、造形作家。 2003年、NPO法人“つなぐ”を結成。つなぐ理事長。 県立美術館学芸員を経て、ミュージアム・マガジン「DOME」、アートマガジン「L/R」各編集長。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』)		『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p403.P409) 「MUH vol.41」(2009.10、p9)	2014/10/18	甲府
ヤマト シュウゴロウ 山本 周五郎	男	1903   1967	初狩村	大月市	『大月人物伝』 『山梨県人物・人材情報リスト2011』	文学	小説家。 本名 清水三十六(さとむ) 1907年初狩村の大水害により4歳で東京に転居。 小学校卒業後、東京市木挽町の山本周五郎質店(きねや)で丁稚奉公しながら学校に通う。 関東大震災後、地方新聞記者、雑誌記者などをする。 1926年文壇出世作となる「須磨寺附近」発表。 1943年「日本婦道記」で直木賞に推されたが辞退。以後も各賞を辞退。 (『大月人物伝』、『山梨県人物・人材情報リスト2011』)	『須磨寺付近』(文芸春秋、1926) 『小説日本婦道記』(講談社、1943) 『縦ノ木は残った』(日本経済新聞、1954) 『雨あがる』(同光社、1956) 『赤ひげ診療譚』(文芸春秋新社、1959) 『さぶ』(新潮社、1963) ほか	『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p291～294、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p464～465) 『曲軒・山本周五郎の世界』(山梨県立文学館、1998) 「山梨日日新聞」(2003.6.21、13面) 『山本周五郎の世界』(新評社、1981)	2014/11/18	大月

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヤマモト タケハル 山本 丈晴	男	1925   2011	河口村	富士河口湖町	『僕のそばには、いつも音楽と感動と愛のときめきがあった』	芸術・スポーツ	作曲家の古賀政男に師事し、ギター演奏により古賀メロディの普及に貢献。 女優山本富士子の夫。 第48回日本レコード大賞功労賞受賞。 (『僕のそばには、いつも音楽と感動と愛のときめきがあった』)	『コードから入るギター独習』(全音楽譜出版) 『生誕百年記念ギターでつまびく古賀政男110名曲集 我が心の歌』(全音楽譜出版) 『僕のそばには、いつも音楽と感動と愛のときめきがあった』(ワン・ツー・ワン・プロダクツ、2006)	『僕のそばには、いつも音楽と感動と愛のときめきがあった』(ワン・ツー・ワン・プロダクツ、2006、奥付)	2012/8/16	富士河口湖
ヤマモト チスキ 山本 千杉	男	1929 	高根町	北杜市	『逸見筋の歳時記・方言』 『日本の神話-古事記より』	歴史・地理 言語	1929年、代々神職の家に生まれる。 1948年、山梨師範学校卒業後、県内小中学校で教鞭をとり1989年退職。 高根町郷土研究会員、高根町社会教育委員、高根町文化財審議委員などを務め、現在、蔵原諏訪神社宮司。 (『逸見筋の歳時記・方言』『日本の神話-古事記より』)	『甲斐国志にみる高根町』(小宮山プリント社、1993) 『古事記に現れる「神名要覧」』(小宮山プリント社、1994) 『逸見筋の歳時記・方言』(小宮山プリント社、1997) 『高根町内神社とまつりごと』(小宮山プリント社、2007) 『日本の神々』(小宮山プリント社、2007) 『日本の神話-古事記より』(小宮山プリント社、2010) ほか	『逸見筋の歳時記・方言』(山本千杉編、小宮山プリント、1997) 『日本の神話-古事記より』(山本千杉著、小宮山プリント社、2010、著者略歴に顔写真あり)	2012/8/3	たかね
ヤマモト ミ 山本 美香	女	1967   2012	都留市	都留市	『山本美香という生き方』	図書館・情報	都留文科大学卒業後、CS放送局の記者、ディレクターを経て1996年から独立系通信社ジャパンプレスに所属。世界各地の紛争地、米国同時多発テロ戦時下のアフガニスタン、イラク戦争等取材、レポート。大学非常勤講師として、また講演活動等で活躍。2012年8月20日、シリア内戦の取材中、銃撃を受け殉職。ポーン・上田記念国際記者賞特別賞、都留市市民栄誉賞受賞。(『山本美香という生き方』)	『匿されしアジア』(共著、風媒社、1998) 『中継されなかったバグダット』(小学館、2003) 『ぼくの村は戦場だった。』(マガジンハウス、2006) 『戦争を取材する』(講談社、2011) 『山本美香という生き方』(日本テレビ放送網、2012)	『山本美香という生き方』	2013/1/19	都留

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ユキエ ナホミ 雪江 なほみ	女	1941 	甲府市	甲府市	『山梨現代美術の軌跡』	芸術・スポーツ	工芸家、ジュエルアート作家。九人展事務局長。「シュエルスタンド」を考案。甲府盆地ナイトツアーを考える会に参加。『山梨現代美術の軌跡』1995年、JJAジュエリーコンテスト95にて、通産産業省生活産業局長賞受賞。(「ジュエルステンドアトリエ雪江」)		『山梨現代美術の軌跡』(現代美術「こうふ展」実行委員会・甲府教育委員会、2005、p18) 「ジュエルステンドアトリエ雪江」 <a href="http://www5.nns.ne.jp/ent/jewel.stained/">http://www5.nns.ne.jp/ent/jewel.stained/</a> (2014.9.19確認)	2014/9/19	甲府
ユノキ マリ 柚木 真理	女	不詳	東京都	東京都	『父さん、ぼく面倒みきれません。』	文学	大学で国文学・民俗学を学び、昔話の研究書を2冊著す。小学校・養護学校教員、山梨県史や富士吉田市史等の編纂専門調査員(民俗編)をつとめる。『にいちゃん、ぼく反省しきれません。』は第10回読書感想画中央コンクールの指定図書になる。清里高原在住。(『父さん、ぼく面倒みきれません。』)	『にいちゃん、ぼく反省しきれません。』(ポプラ社、1998) 『父さん、ぼく面倒みきれません。』(新風舎、2005)	「山梨日日新聞」(2005.2.27、13面) 柚木真理のホームページ <a href="http://ameblo.jp/hoyurican/">http://ameblo.jp/hoyurican/</a> (2012/8/3確認)	2012/8/3	たかね
ヨコヤマ アキサク 横山 昭作	男	1927 	韮崎市	韮崎市	『山梨県人物人材情報リスト2011』	社会科学 文学	随筆家。県内公立学校勤務。1953年から成城学園に勤務。同初等校長・幼稚園園長を歴任。NHK学校放送企画委員。日本私立小学校常任連合会常任理事。山人会理事。俳誌「黄鐘」同人。(『山梨県人物人材情報リスト2011』)	『四幕の島』(新生社、1983) 『遠い花火』(千代田永田書房、1988) 『花は葉に』(大成出版社 1995)	『山梨県人物人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p472)	2012/11/4	韮崎
ヨシイ トキエ 吉井 ときゑ	女	1922   1998	甲府市	甲府市	『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』	文学	歌人。伊藤生更に師事。「見たまま、感じたままをぞうさもない言葉で表現する」などの言葉を具現した。(『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』)	『俱会一処』(吉井ときゑ、1993)	『開館十周年記念展 I やまなし・女性の文学』(山梨県立文学館、1999、p49)	2012/11/4	甲府



氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヨシオカ ジュンサク 吉岡 順作	男	1864   1944	岡部村	笛吹市	『山梨県人物・人材リスト2011』 『春日居町誌』	自然科学・医学	医師(地方病・日本住血吸虫病の研究)。 1888年石和村へ吉岡医院を開業。 1897年水腫張満の患者「杉山なか」の死体解剖を盛岩寺(清田村向町)で実施。 1910年地方病予防予報の論文を国家医学雑誌に発表。 (『郷土史にかがやく人々』、『山梨百科事典』、『春日居町誌』)		『郷土史にかがやく人々第17集』(青少年のための山梨県民会議、1989、p1~30、顔写真あり) 『山梨県人物・人材リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p472) 『春日居町誌』(春日居町、1988、p1337~1353、顔写真あり) 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社、1989、p498) ほか	2012/8/20	春日居
ヨシカワ ユキオ 吉川 行雄	男	1907   1937	大原村	大月市	『月夜の詩人 吉川行雄』	文学	童謡詩人。 14歳の時、ポリオにより足が不自由となる。 1924年「赤い鳥」等に作品が入選。 1930年北原白秋門下の雑誌「チチノキ」同人。 数多くの月の詩を残し「月夜の詩人」と呼ばれた。 (『月夜の詩人 吉川行雄』)	「郭公啼くころ」(発行所不明、1936、『月夜の詩人 吉川行雄』収録) 「ロビン」(発行所不明、1927、『月夜の詩人 吉川行雄』収録) ほか	『月夜の詩人 吉川行雄』(てらいんく、2007) 「山梨日日新聞」(2007.8.29、10面、顔写真あり) 『大月人物伝』(日本ステンレス工業株式会社、2008、p295~299、顔写真あり) 『山梨県人物・人材情報リスト2011』(日外アソシエーツ、2010、p473)	2014/11/18	大月
ヨシザワ ヤスミ 吉沢 やすみ	男	1950 	山梨市	山梨市	『パパとゆっちゃん』	芸術・スポーツ	漫画家 1970年『週刊少年ジャンプ』(集英社)で『ど根性ガエル』でデビュー。ベストセラーになる。 (『パパとゆっちゃん』単行本未収録作品集)	『ど根性ガエル』(集英社、1995年) ほか	「パパとゆっちゃん」(ど根性クラブ、2010.5、奥付)	2014/12/12	山梨
ヨダ シゲオ 依田 茂夫	男	1933 	甲府市	甲府市	『青春グラフィティ』	文学	作家。 1983年「裾文学会」へ入会、創作活動を始める。 (『青春グラフィティ』)	『青春グラフィティ』(裾文学会、2002) 『花嫁の父』(裾文学会、2002) 『炎暑』(裾文学会、1993) ほか	『青春グラフィティ』(奥付に著者略歴あり)	2012/7/17	甲府

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヨネザワ ユキオ 米沢 幸男	男	1932 	身延町	身延町	『少年オルフェ』	文学	日本大学法学部卒業。 1962年、長編童話『少年オルフェ』で第3回講談社児童文学新人賞を受賞。 1965年、NHKで『少年オルフェ』がドラマ化される。1972年、NHKで再びドラマ化。 1976年、俳句「乳母車 花野をゆくや 蝶ふえて」で、俳人協会全国俳句大会で特選となる。 (『少年オルフェ』)	『少年オルフェ』(講談社、1981)	『少年オルフェ』(奥付)	2014/12/12	身延
ヨネミツ タツヒロ 米満 達弘	男	1986 	富士吉田	富士吉田	『山梨県人物・人材情報リスト2013』 「広報ふじよした」	スポーツ	レスリング選手(フリースタイル)。韭崎工時代は全国高校グレコローマン選手権、国体グレコローマンで優勝。拓殖大学に進み、2006年全日本選手権フリースタイル66キロ級2位。2007年年全日本学生選手権で優勝。2008年世界学生選手権フリースタイル66キロ級で優勝した他、全日本選手権で初優勝。2009年、2010年世界選手権に出場。2012年ロンドン五輪フリースタイル66キロ級で金メダル獲得。同年「富士吉田市民文化スポーツ特別栄誉賞」受賞。身長169cm、リーチ184cm。 (『山梨県人物・人材情報リスト2013』)		『山梨県人物・人材情報リスト2013』(日外アソシエーツ、2012年、p477~478) 「山梨日日新聞」(2012.8.13、21面) 「広報ふじよした」(2012年9月号、表紙~3p) 「MAMOR(マモル)」(2013年3月号、p10~13)	2014/11/25	富士吉田
ヨネヤマ キミヒロ 米山 公啓	男	1952 	甲府市	甲府市	『山梨県人物・人材リスト2013』	自然科学・医学 文学	作家、医師 医学博士 (『山梨県人物・人材リスト2013』)	『すべてがうまくいく8割行動術』(ソフトバンククリエイティブ、2006) 『頭のいい人の時間攻略法 ゆとりを生み出す脳の使い方』(日本実業出版社、2007) 『新老人論』(アスキー、2007) 『医療格差の時代』(筑摩書房、2008) 『健康偽装』(ビジネス社、2008) 『マンガ脳』(アスペクト、2008) ほか	『山梨県人物・人材リスト2013』(日外アソシエーツ、2012、p391~392) 「山梨日日新聞」(2004.8.29、5面、顔写真あり、2007.8.29、2面、顔写真あり) 米山公啓事務局 <a href="http://yoneyone.com/">http://yoneyone.com/</a> (2014/11/27確認)	2014/11/27	県立

氏名	性別	生没年	出身地	出身地 現行自治体名	基本データ出典	分野	職業・業績など(出典)	著作	本人紹介資料	作成日	記入館
ヨネヤマ ホクアン 米山 朴庵	男	1864   1928	南都留郡 境村	都留市	『都留の今昔』	芸術・ス ポーツ	本名 米山登 滝和亭の弟子 (『都留の今昔』)		『都留の今昔』(都留市老人クラ ブ連合会、1978、p87～89)	2012/8/9	都留
ヨネヤマ ママコ 米山 曼舞子	女	1935 	身延町	身延町	『山梨県人物・人 材情報リスト 2011』 『砂漠にコスモス は咲かない』	芸術・ス ポーツ	東京教育大学体育学部卒。 1958年、NHK「私はバック」出 演。 1960年渡米後、11年間放浪。日 生上人に「十牛図」を説かれ「禪 トマイム」の道へ。米国各地で 大学講師を務める。 1981年、セリフ入り舞台で「ボル チモア国際演劇祭」にて高い評 価を得る。 帰国後「ママコ・ザ・マイムスタジ オ」を設立。公演活動、後進の 指導にあたる。 1990年、一時米山曼舞子に改 名。 1993年、第12回芦原英子賞受 賞。 (『山梨県人物・人材情報リス ト2011』『砂漠にコスモスは咲か ない』)	『砂漠にコスモスは咲かない』(講談 社、1977)	『砂漠にコスモスは咲かない』 (奥付) 『山梨県人物・人材情報リス ト2011』(日外アソシエーツ、 2011、p479) 「婦人公論」(1992年1月号、 p114～) 「山梨日日新聞」 (2002.7.7/4面「元気甲州人」、 2004.10.5/11面、2005.5.24/10 面 2014.5.18/11面) 「毎日新聞」(1986.10.8夕刊、1 面) 「朝日新聞」(1987.12.5、13面) 「東京新聞」(1990.2.15、16面) 「日本経済新聞」(1992.7.23、36 面)	2014/12/12	身延